

取扱説明書

開閉センサー

品番 **KX-HJS100**

KX-HJS100W



お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書
付 き

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6・7・8・9ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

Printed in Malaysia



PNQX7477ZA

PNQX7477ZA C0715KM0

はじめに

本機について	3
本システムについて	4
付属品について	4

ご使用の前に

安全上のご注意	6
使用上のお願い	10

設置

各部のなまえとはたらき	13
取り付け可能な窓について	13
取り付け可能なドアについて (ホームユニット登録時のみ)	14
取り付けの流れ	18
取り付けかた	18
使いかた	28
電池を交換する	29
本体を取り外すとき	31

必要なとき

ホームネットワークシステムで使 うとき	32
仕様	34

困ったとき

困ったとき	35
保証とアフターサービス	37

本機について

本機は、パナソニック システムネットワークス株式会社製のホームネットワークシステムのホームユニット、テレビドアホン・ファクス・電話機の親機に登録し、窓やドアが開いたことをお知らせする製品です。

ホームユニットに登録したときと、テレビドアホン・ファクス・電話機の親機に登録したときでは、以下のとおり取り付け可能な箇所（機能）が異なります。

	窓	ドア
ホームネットワークシステム	○	○
テレビドアホン ファクス 電話機	○	×

- ホームユニットまたは親機に登録しないと、本機は使えません。
- テレビドアホン・ファクス・電話機に登録したときは、「窓センサー」として動作します。

本機に登録可能な製品

次の機種に対応しています。（2015年10月現在）

- ホームネットワークシステム
KX-HJC100K KX-HJC200K
KX-HJB1000
- テレビドアホン
VL-SWDシリーズ VL-SVDシリーズ
- ファクス
KX-PDシリーズ
- 電話機
VE-GDシリーズ VE-GDW54シリーズ
- 登録できる機種は追加になることがあります。

はじめに

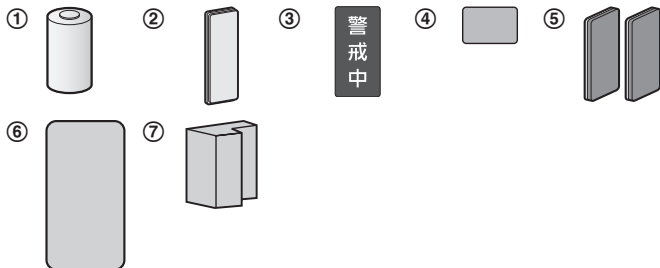
- 本機は無線通信に1.9 GHz帯を使用しています。2.4 GHz帯を使用している機種には登録できません。
- 本書では各機種の親機とホームユニットを総称して「親機」と表記しています。

本システムについて

- 本機は本体と磁石を組み合わせて使用し、窓／ドアが開くと報知音で知らせる機能がありますが、侵入や盗難などを防止することを目的とした製品ではありません。
これによる事件・事故および損害の発生などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本システムは無線通信を利用した商品であるため、混信や干渉により意図どおりに機能を使用できないことがあります。
これによる事件・事故および損害の発生などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

付属品について

番号	品名	数量	
		KX-HJS100	KX-HJS100W
①	リチウム電池（CR2）	1	2
②	磁石	1	2
③	警戒中シール	1	2
④	増設番号シール	1	2
⑤	窓用スペーサー（厚さ 約 3.2 mm）	2	4
⑥	スペーサー枚数確認シート（窓用）	1	2
⑦	ドア用スペーサー	1	2



お知らせ

- 不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

その他

- デザインや仕様は予告なく変更になることがあります。
- 本書に記載のイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。
- 本書ではスマートフォン・タブレットを総称して「スマートフォン」と表記しています。

商標について

- iPhone、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標です。
- Microsoft、WindowsおよびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。

電池について

警告

発熱・発火・破裂・液もれを防ぐために



禁止

- 充電、加熱、分解したり、火の中へ入れない
- (+)(-)端子を金属などに接触させない
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない

事故を防ぐために



禁止

- 乳幼児の手の届くところに置かない
(誤って飲み込むおそれ)
万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

注意

発熱・発火・破裂・液もれを防ぐために



禁止

- 指定の電池以外は使用しない
- (+)(-)は正しく入れる

本機全般の取り扱いについて



火災・感電などを防ぐために



禁止

- 分解・修理・改造しない
修理は販売店へご相談ください。
- 本機を電子レンジに入れたり、電磁調理機器などに置いたりしない

事故などを防ぐために



禁止

- 医療機器の近くでの設置や使用をしない※1
手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室の略称）などには持ち込まない
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない※1

※1 本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因



- 心臓ペースメーカーの装着部位から15 cm以上離す
(本機からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります)

注意

火災などを防ぐために



禁止

- 故意に水をかけたり、ぬらさない
ぬれた場合は、すぐに電池を外して、販売店へご相談ください。

事故・けが・財産の損害などを防ぐために



禁止

- ブザーに耳を近づけない
(急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こすおそれあり)
- 磁石に磁気に弱い物 (キャッシュカード、通帳など) を近づけない
(磁力線により、磁気に弱いものは使えなくなることがあります)



- 確実に固定する
(落下による、破損やけがの原因)



- 窓／ドアの開閉時、指のはさみ込みに注意

使用上のお願い

使用可能距離について

親機と本機間の使用可能距離は、約100 mです。（間に障害物がない場合）距離が離れていたり、次のような障害物があると、電波が弱くなり、使用できない場合があります。

- 金属性のドアや雨戸、シャッター
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリートやトタン製の壁
- 複層ガラスの窓
- 壁と何枚も隔てたところ
- 親機と別の階や家屋で使うとき
- 夜間などにドアや雨戸を閉めると、電波が弱くなり使えないことがあります。
- 上記のような場合は、別売品の中継アンテナ（品番：KX-FKD3）を設置すると、改善できることがあります。

お知らせ

- 親機との電波状態を確認するには、本体カバー、電池カバー・電池を外したあと、20ページの手順4の操作を行ってください。

こんなところには設置しない

- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン（インターホン機能付き）、ホームセキュリティ関連装置の近く（ノイズ発生の原因）
- 本機に、過度の煙、ほこり、高温や振動を与えない
- 火気・熱器具の近く（温度が-10℃以下、または40℃以上の部屋にも置かない）
- 電気機器の近くで本機を操作されると干渉を起す恐れがあるので、電気機器から離す
- 屋外、浴室、水のかかる場所（故障の原因）
本機は、IPX4（旧JIS C 0920 保護等級4「防まつ構造」）ですが、故意に水をかけないでください。
- 強い磁気を発生させる機器の近く（誤動作の原因）

お願い

- 本体および磁石に衝撃を与えないでください。（落下したり、窓やドアを強く開閉すると、誤動作、破損、変形の原因）

テレビドアホン、ファクス、電話機の親機に登録したとき

- 本機をテレビドアホン、ファクス、電話機の親機に登録した場

合は、窓に取り付けてください。

- テレビドアホン、ファクス、電話機には、専用のドアセンサー（別売品）があります。詳しくは、テレビドアホン、ファクス、電話機の取扱説明書をご確認ください。

傍受について

本機は通信にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

電波について

- 本機は、**1,895.616～1,902.528 MHzの帯域を使用する無線設備です。**
本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す下記のマークが表示されています。（一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIBSTD-T101」準拠）

1.9-D

- J-DECT ロゴは、DECT Forumの商標です。J-DECT のロゴは ARIB STD-T101 に準拠した 1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機

器間での接続可否を示すものではありません。

J-DECT

- 本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電池を抜いて、ファクス・電話機で相談窓口（38ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、ファクス・電話機で相談窓口（38ページ）へお問い合わせください。

廃棄・譲渡・返却するとき

リチウム電池を取り出してください。

（誤動作の原因）

ご使用の前に

- 電池は、12ページの「使用済みの電池を捨てる時」に従って処分してください。

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。（故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください）
- 取扱説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するとき
 - 接続した親機からセンサーを減設してください。
減設方法はご使用の「ホームネットワーク」アプリケーション、テレビドアホン、ファクス、電話機の取扱説明書をご確認ください。減設後は、誤動作防止のため、電池を外してください。
 - 万一の落下防止のため、本機を窓／ドアから取り外してください。

お手入れについて

- お手入れ時は、誤動作防止のため、本機の電池を抜いてから、柔らかい布でから拭きしてください。

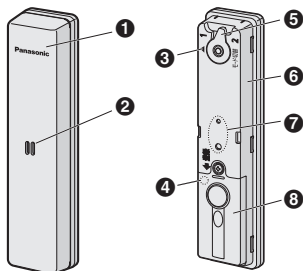
お願い

- お手入れに、アルコール・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色、変質の原因）

使用済みの電池を捨てる時

- 「燃えないゴミ」として、地域条例に従って処理してください。
- 端子を絶縁するためにテープを貼ってください。（ショートによる液もれ・発熱・破裂の防止）

各部のなまえとはたらき



① 本体カバー

電池を入れて登録操作などを行うときに開けます。本体の取り付け向きに合わせて、上下どちらの向きにも取り付けられます。

② ブザー用の穴

③ 磁石取り付け方向マーク

④ 【登録】ボタン

親機に登録するときに押します。（電池カバーの中）

⑤ 【モード切替】スイッチ

⑥ 製造番号

⑦ ブザー

ブザーの穴に水や虫、異物が侵入すると、音量が小さくなったり、音質が悪くなったりする場合があります。

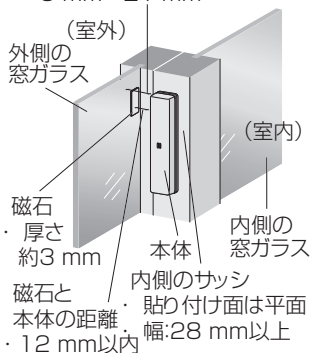
⑧ 電池カバー

取り付け可能な窓について

外側の窓ガラスと内側のサッシの距離を確認してください。

- 鉄製窓には、使用できません。
- 内側と外側のサッシの位置が下記イラストと逆になっている場合は、本体を上下逆にして取り付けます。（23ページ）

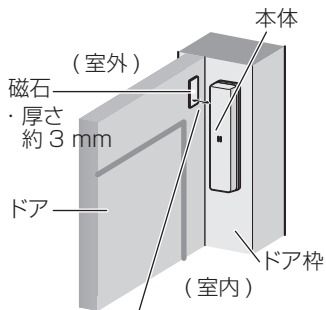
窓ガラスと内側のサッシの距離
・ 5 mm～21 mm



- 磁石と本体の距離が12 mmを超えると取り付けできません。付属の窓用スペーサーを使って、磁石と本体の距離が12 mm以内になるようにしてください。

取り付け可能なドアについて（ホームユニット登録時のみ）

- 鉄製ドアの場合は、磁石が鉄の影響を受け、検知距離が短くなりますので、必ず、付属のドア用スペーサーを使用してください。



磁石と本体の距離
・ 10 mm 以内

- 磁石と本体の距離が10 mmを超えると取り付けできません。付属のドア用スペーサーを使って、磁石と本体の距離が10 mm以内になるようにしてください。（15、16ページ）

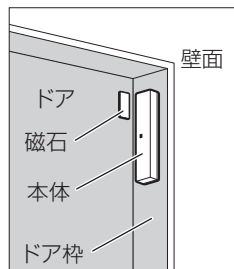
取り付け可能なドアの確認

ドアおよびドア枠の形状により取り付け方法が異なりますので、取り付け方法を確認してください。

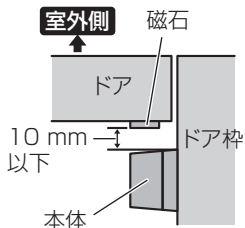
- 本体とドアの距離が33 mm以上ある場合は取り付けできません。

ドアAタイプ

- ドア枠とドアの間に凸部がない場合

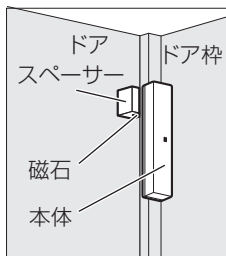


上から見た図

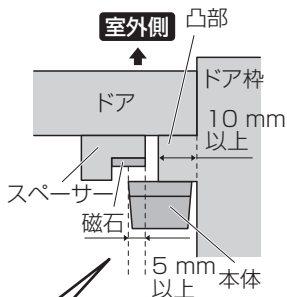


ドアBタイプ

- ドア枠とドアの間の凸部の幅が10 mm以上ある場合
(凸部の幅が10 mm未満の場合
は、ドアAタイプの方法で取り
付けてください)

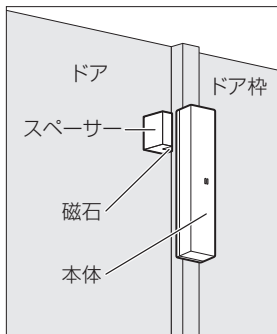


上から見た図
(スペーサーを使用した例)

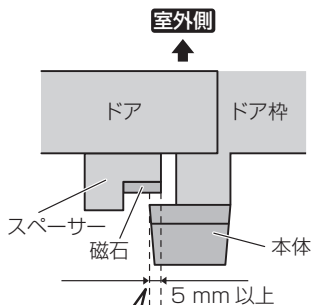


本体の端より5 mm 以上内側に磁石がくるように設置してください。

- 親子ドアや袖付きドアの場合



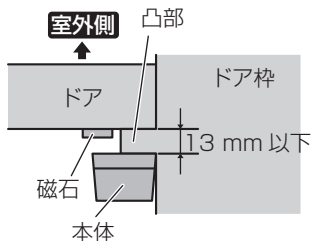
上から見た図
(スペーサーを使用した例)



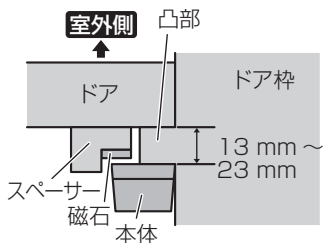
本体の端より5 mm 以上内側に磁石がくるように設置してください。

お知らせ

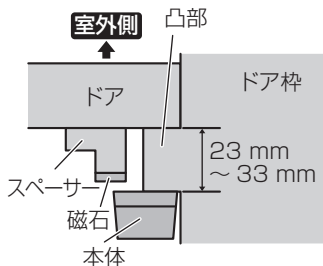
- 凸部の厚みが13 mm以下の場合、ドア用スペーサーは使用しません。



- ドアと本体の距離が13 mm以上ある場合はドア用スペーサーを使用してください。凸部の厚みが13 mm～23 mmの場合、ドア用スペーサーの1段目に磁石を貼ります。(22ページ)

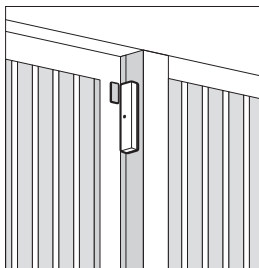


- 凸部の厚みが23 mm～33 mmの場合、ドア用スペーサーの2段目に磁石を貼ります。(22ページ)

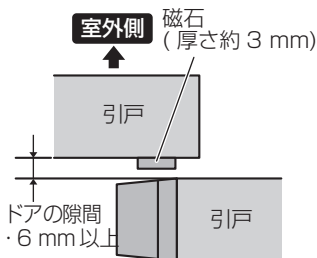


引き違いドア

- 片開きの引き違いドアの場合
ドアAタイプまたはドアBタイプの方法にて取り付けてください。
- 両開きの引き違いドアの場合
磁石を貼り付けるため、ドアの隙間は6 mm以上必要です。



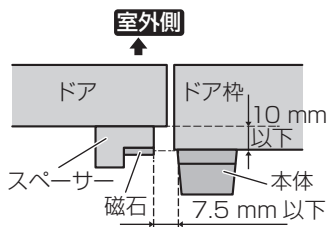
上から見た図



磁石を本体の横に取り付けるとき
磁石と本体の距離が7.5 mm以下
になるように取り付けてください。

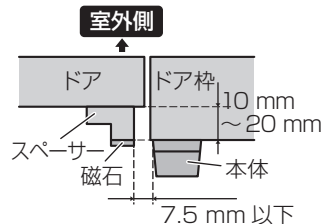
- ドアと本体の距離が10 mm以下
の場合、ドア用スペーサーの1
段目に磁石を貼り付けます。(22ページ)

上から見た図



- ドアと本体の距離が10 mm～
20 mmの場合、ドア用スペー
サーの2段目に磁石を貼り付け
ます。(22ページ)

上から見た図



取り付けの流れ

- 1 本体カバーと電池カバーを外す
- 2 親機の近くで、本体を親機に登録する
- 3 本体カバーに増設番号シールを貼る
- 4 本体を取り付ける位置で親機からの電波レベルを確認する
- 5 必要があれば、磁石にスペーサーを貼り付ける
- 6 磁石（スペーサー）、本体を貼り付ける
- 7 電池を入れ、電池カバーと本体カバーを取り付ける
- 8 警戒中シールを貼る

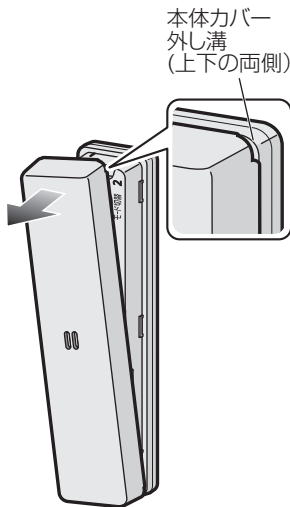
お知らせ

- 本機をホームネットワークシステムでご利用の場合、「親機」とは「ホームユニット」のことです。

取り付けかた

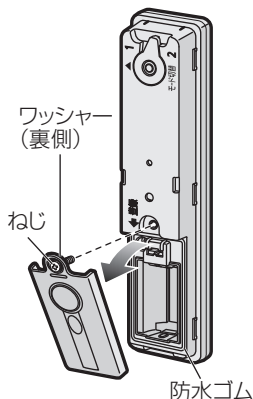
- 1 本体カバーと電池カバーを外す

- ① 本体カバーを外す
 - 本体カバー外し溝に細いドライバーなどを引っ掛けて外してください。



- ② ねじをゆるめ、電池カバーを外す
 - ねじをゆるめるとき、電池カバーを押さえな

いでください。(ワッ
シャーの外れ防止)



2 親機の近くで、本体を親機に登録する

- 本体の電池を外した状態から操作を始めてください。

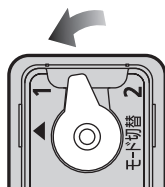
① 親機で開閉センサーの登録操作をする(親機の取扱説明書をご確認ください。)

- 親機に登録する開閉センサーの番号を覚えておいてください。
ホームユニットに登録する場合は、1台目が1番となり、番号の小さい順に登録されます。

(20ページの手順
3)

- 親機の操作に続けて、開閉センサーを操作してください。
- 本機をホームネットワークシステムでご利用の場合は、「センサーをホームユニットに登録する」をご確認ください。(32ページ)

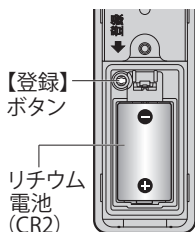
② **【モード切替】**スイッチを「モード1」にする



③ 電池を入れ、「ピッ」と鳴ってから**【登録】**ボタンを3秒以上押す

- 電池を入れても「ピッ」と鳴らないとき(26ページ)
- 「ピッピッピッ…」のあと、「ピー」と約1秒間鳴ったら、親機に登録完了です。
登録できなかったときは、電池を外して手順

①からやり直してください。



- 電池収納部の⊕⊖表示に従って入れてください。
 - 電池カバーは、まだ取り付けないでください。
- ④ 続きの操作のために、電池を外す
- 開閉センサーの報知音が鳴っているときは、電池を外すと止まります。

3 本体カバーに増設番号シールを貼る

- 増設番号シールに登録した開閉センサーの番号を書いてください。

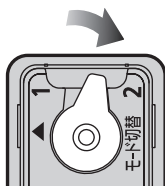


増設番号シール
(貼り付け位置の例)

4 本体を取り付ける位置で親機からの電波レベルを確認する

- 親機から届く電波の強さを確認します。
- 本体の電池を外した状態から操作を始めてください。

- ① **【モード切替】**スイッチを「モード2」にする



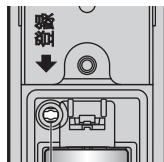
- ② 電池を入れ、「ピッ」と鳴ってから2分以内に**【登録】**ボタンを押し（2秒以上押さな

い）、本体を取り付ける位置で電波レベルを確認する

確認後、電池を外す

- 電池を入れても「ピッ」と鳴らないとき（26ページ）
- 電波レベルの確認音が約3分間鳴る。
- もう一度確認するときは、電池を外し、手順②からやり直す。

- 電波レベル2以上でのご使用をお勧めします。



【登録】ボタン

電波レベル		確認音
強い ▼ 弱い	レベル 3	ピー ピー ピー
	レベル 2	ピー ピー
	レベル 1	ピー
圏外（親機からの電波が届いていません）		ピピピ ピピピ

- 使用環境（雨戸の開け閉めなど）によっては、設置時より電波レベルが弱くなり使えないことがあります。（10ページ）

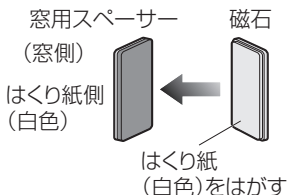
5 必要があれば、磁石にスペーサーを貼り付ける

- 窓に取り付ける場合
付属の「スペーサー枚数確認シート（窓用）」で磁石に貼る窓用スペーサーの枚数を確認できます。確認のしかたは、「スペーサー枚数確認シート（窓用）」をご確認ください。
- ドアに取り付ける場合
ドアおよびドア枠の形状によりドア用スペーサーが必要な場合があります。
「取り付け可能なドアについて（ホームユニット登録時のみ）」（14ページ）をご確認ください。

■ 貼り付けかた

- 磁石のはくり紙をはがし、スペーサーに貼ってください。

窓に取り付ける場合



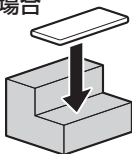
- 窓用スペーサーを2枚貼るときは、窓用スペーサーのはくり紙をはがし、同じように貼ってください。

お願い

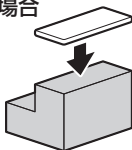
- 窓用スペーサーの枚数を間違えると正しく窓の開閉検知ができませんので、必ず確認してください。

ドアに取り付ける場合

ドア用スペーサーの1段目に貼る場合



ドア用スペーサーの2段目に貼る場合



6 磁石（スペーサー）、本体を貼り付ける

- 窓に取り付ける場合
磁石（窓用スペーサー）は窓ガラス、本体をサッシに貼り付ける

■ 内側の窓が右にあるとき
(23ページ)

■ 内側の窓が左にあるとき
(23ページ)

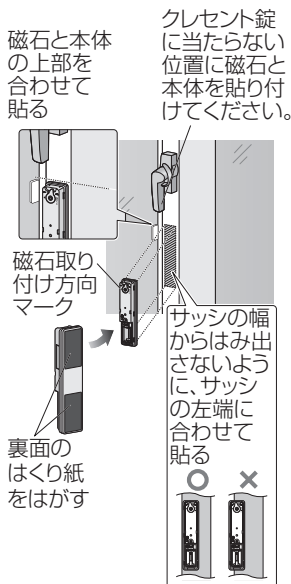
- ドアに取り付ける場合
磁石（ドア用スペーサー）
はドア、本体をドア枠に貼
り付ける（24ページ）

お願い

- 貼付位置の汚れを落と
し、ぬれている場合は乾
かしてから貼り付けてく
ださい。また冬期は部屋
が十分に暖まった状態で
貼り付けてください。
汚れやぬれていたり、粘
着面の温度が低すぎると、
粘着力が弱くなり、は
がれるおそれがあります。
- 貼り付け後、はがれない
ように強く押し付けて、
取付状態を確認してくだ
さい。
- 両面テープは最初は粘着
力が弱い場合があります
が、一昼夜程度で十分な
粘着力になります。
本体や磁石に強い衝撃を
与えないようにしてくだ
さい。

■ 内側の窓が右にあるとき
磁石（窓用スペーサー）
を窓ガラスに貼ったあ

と、本体を内側のサッシ
に貼り付けてください。



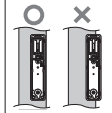
■ 内側の窓が左にあるとき
磁石（窓用スペーサー）
を窓ガラスに貼ったあ
と、本体を上下逆にして
内側のサッシに貼り付け
てください。

クレセント錠に
当たらない位
置に磁石と本
体を貼り付け
てください。

磁石と本体
の下部を合
わせて貼る

磁石取り付け
方向マーク

サッシの幅
からはみ出
さないよう
に、サッシ
の右端に
合わせて
貼る



裏面
のはくり紙
をはがす

【モード切替】
スイッチを下側に
取り付ける

■ ドアに取り付けるとき

磁石と本体
の上部を合
わせて貼る

裏面
のはくり紙をはがす

磁石と本体
の上部を合
わせて貼る

裏面
のはくり紙
をはがす
(半分のみ
はがして
貼ることも
できます)

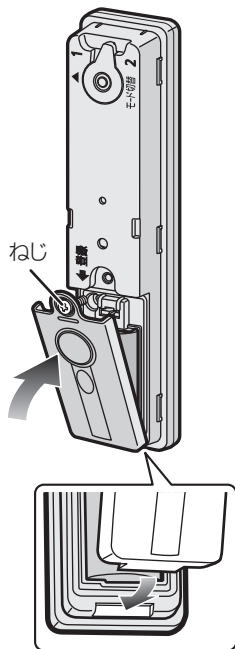
7 電池を入れ、電池カバーと本体カバーを取り付ける

- ① 電池を入れ、電池カバーを取り付け、ねじをしめる

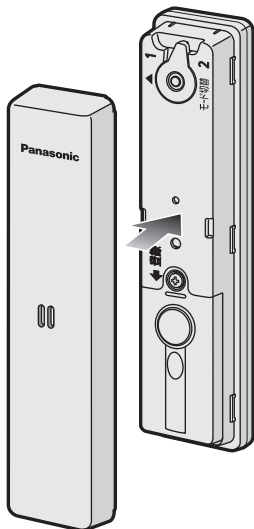
- 窓が開いている状態で電池を入れたときは、一度、窓を閉めてください。

次に窓を開けると、センサーが反応します。

- 本機をホームネットワークシステムでご利用の場合、「ホームネットワーク」アプリケーションでの設定が完了しないと、窓／ドアを開けても、センサーは反応しません。詳しくは、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書（33ページ）をご確認ください。



② 本体カバーを取り付ける



8 警戒中シールを貼る

- お好みでお貼りください。



- 磁石の位置に合わせて窓の外側に貼ると、外から見たときに、磁石の貼り付け面

を目立たなくすることができます。

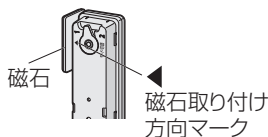
お願い

- 使用環境（雨戸の開け閉めなど）で電波状況が変わりますので、設置場所で動作確認を行ってください。
- サッシなどのガタツキにより、サッシと本体や磁石が接触する場合は、サッシなどにキズをつけるおそれがあります。窓の立てつけの修理をしてください。

電池を入れても「ピッ」と鳴らないとき

下記の操作を行ってください。
(リセット)

- 1 電池を外す
- 2 磁石取り付け方向マーク側の本体側面に磁石を約3秒間当てる

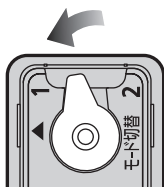


- 3 磁石を本体から離す
- 4 電池を入れて、操作を続ける

磁石の取り付け位置の確認のしかた

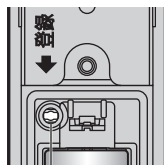
磁石が本体の検知範囲内かどうか確認することができます。正しい位置に磁石と本体を設置していれば、この操作は必要ありません。窓／ドアの開閉状態を検知できないときに、確認してください。

- 1 電池を外す
- 2 **【モード切替】**スイッチを「モード1」にする



- 3 電池を入れ、「ピッ」と鳴ってから2分以内に**【登録】**ボタンを押し（2秒以上押さない）、本体と磁石を取り付ける位置で磁石が検知範囲内かどうか確認する
 - 電池を入れても「ピッ」と鳴らないとき（26ページ）
 - 約1分間確認できる。
 - もう一度確認するときは、電池を外し、手順2からやり直す。

- 「ピー」と鳴り続ければ、使えます。



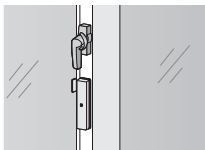
【登録】ボタン

磁石の位置	確認音
検知範囲内	ピー（鳴り続ける）
検知範囲から外れているとき	鳴りません

使いかた

窓／ドアが閉まった状態

(例：窓)



お知らせ

- 本機は約100分ごとに自動的に電波を送信します。電池が少なくなると、登録した製品に交換が必要なことをお知らせします。
- 親機と信号の送受信ができない圏外のときは、窓／ドアが開いても報知音は鳴りません。
- 2台以上の開閉センサーから同時に電波が送信されると、親機の開閉センサーの機能が働かないことがあります。
(親機の開閉センサーの機能が働かないと、本機の報知音も鳴りません)

窓／ドアが開き、本体と磁石が離れると…

本機と親機が通信し、親機の設定に従って報知音が鳴ります。

テレビドアホン、ファクス、電話機で本機を使用している場合



- 「報知レベル(高い)」のとき
「ヒュンヒュンヒュン…」と約30秒間鳴る
- 「報知レベル(低い)」のとき
「ピーピー ピーピー」と鳴る
- 報知レベル(「オフ」または「OFF」)のとき
鳴りません。

詳しくは、親機の取扱説明書をご確認ください。

ホームネットワークシステムで本機を使用している場合

- 警戒モード設定時
「ヒュンヒュンヒュン…」と約30秒間鳴る
- 警戒モード設定時に予備報知の設定をしているとき
「ピーピー」と鳴り、予備報知時間を過ぎると「ヒュン

ヒュンヒュン...」と約30秒間
鳴る

■ 警戒モード解除時

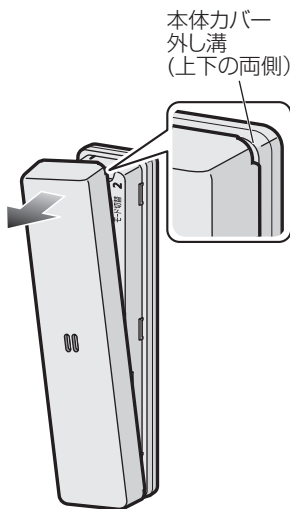
鳴らない

詳しくは、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書（33ページ）をご確認ください。

電池を交換する

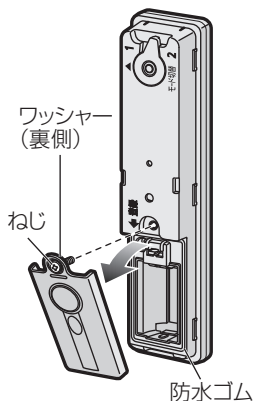
電池は、リチウム電池（CR2、電圧：DC3 V）を使用してください。

- 1 本体カバーを外す
 - 本体カバー外し溝に細いドライバーなどを引っ掛けて外してください。



2 ネジをゆるめ、電池カバーを外す

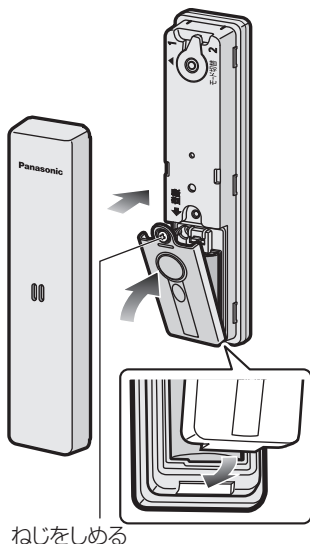
- ネジをゆるめるとき、電池カバーを押さえないでください。（ワッシャーの外れ防止）



3 新しい電池に交換する



4 電池カバーと本体カバーを取り付ける



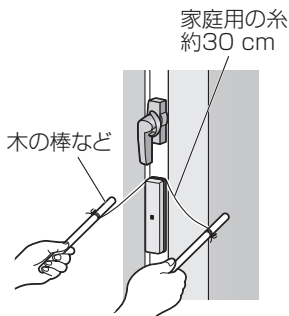
お願い

- 電池交換のあと、窓／ドアの開閉を正しく検知するか、確認してください。（28ページ）
- 電池交換のあと、本体が両面テープできちんと貼り付けられていることを確認してください。
- 使用済みの電池を捨てるとき。（12ページ）

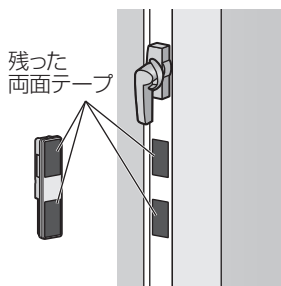
本体を取り外すとき

修理や本機を廃棄するときは、下記の方法で取り外してください。

- 1 市販の家庭用の糸を二重にして木の棒などに結ぶ
- 2 本体を貼り付けている黒い両面テープの部分を糸で切り取る
 - 本体が落ちないように、両面テープを少し残したあと、本体を引っ張って取り外してください。



3 残った両面テープを取り除く



ホームネットワークシステムで使うとき

センサーをホームユニットに登録する

ホームユニットのボタンからと、「ホームネットワーク」アプリケーションからの2種類の登録方法があります。

お知らせ

- 「ホームネットワーク」アプリケーションは、本機をホームユニットに登録している場合に利用できるアプリケーションです。

ホームユニットのボタンから登録する

登録時は、開閉センサーの電池を外した状態で行ってください。

- 1 開閉センサー：**
本体カバーと電池カバーを外す（18ページ）
- 2 ホームユニット：**
ランプが緑色に点滅するまで【】C】ボタンを押す
- 3 開閉センサー：**
19ページの手順2の②～26ページの手順8までの操作を行う

お知らせ

- センサーの登録を中断する場合は、ホームユニットの【】C】ボタンとセンサーの【登録】ボタンを押してください。
- 登録に失敗すると、ホームユニットは「ピピピピピッ」と鳴ります。失敗した場合は、はじめから手順をやり直してください。

「ホームネットワーク」アプリケーションから登録する

詳しくは、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書（33ページ）をご確認ください。

登録完了後に「ホームネットワーク」アプリケーションを使用して、本機の設置場所や名前を設定することができます。

センサー用途の選択

取り付け箇所に合わせて、用途（窓／ドア）を選ぶことができます。

詳しくは、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書（33ページ）をご確認ください。

「ホームネットワーク」アプリケーションでできること

アプリケーションを使って、次のような機能を使うことができます。

詳しくは、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書（33ページ）をご確認ください。

・ センサー機能

窓／ドアが開いたことをスマートフォンなどにお知らせします。

・ 接続機器の連動設定

設定した曜日、時間帯に、窓／ドアが開くと、カメラの録画を開始するというように、センサーとカメラの動作を連動させることができます。

「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書にアクセスする

「ホームネットワーク」アプリケーションでの本機の使いかたについては、取扱説明書をご確認ください。

1 iPhone/iPad

「ホームネットワーク」アプリケーションのホーム画面で、をタップする

Android™機器

「ホームネットワーク」アプリケーションのホーム画面が表示されているときに、お使いのスマートフォンなどのメニューボタン、または  をタップする

2 [取扱説明書]をタップする

お知らせ

- 取扱説明書を正しく表示するための推奨環境は以下のとおりです。
 - iOS 6.0以降
 - Android 4.1以降
 - Microsoft® Windows® Internet Explorer® 9以降
- 取扱説明書は、下記リンクからでもアクセスできます。



<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/com/hns/smp/manual/>

仕様

- 使用環境

温度 -10 °C~40 °C

- 本体

- 電源

リチウム電池 (CR2)

1個 (DC3 V)

- 報知音の音量

報知レベル (高い) 約75 dB

報知レベル (低い) 約55 dB

(本体中心から前方1 mで測定)

(ホームネットワークシステムでご利用の場合は、約75 dB)

- 無線通信方式

1.9 GHz TDMA-WB

- 使用可能距離

約100 m (見通し距離)

- 電池寿命

約1年 (窓、ドアの開閉: 10回
/1日) ※1

- 外形寸法 (高さ × 幅 × 奥行)

本体:

126 mm × 28 mm × 23 mm

(両面テープ除く)

磁石: 30 mm × 13 mm × 3 mm

(両面テープ含む)

- 質量

本体: 約60 g (電池含まず)

磁石: 約5 g

- 防水性

IPX4※2 (旧JIS C 0920 保護等級4 「防まつ構造」)

※1 パナソニック製リチウム電池 (CR2) を使用した場合

※2 あらゆる方向からの水の飛まつによっても有害な影響を及ぼさないレベル

困ったとき

窓／ドアを開けても開閉センサーの報知音が鳴らない

- 開閉センサーを増設（登録）した親機の電源が入っていますか？
親機の電源が入っていないと鳴りません。
→親機の電源が入っているか確認してください。
- 親機に増設（登録）されていますか？
親機に増設（登録）しないと鳴りません。
→開閉センサーが親機に登録されているか確認してください。
確認のしかたは、ホームネットワークシステムをご利用の場合は、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書（33ページ）、テレビドアホン、ファクス、電話機をご利用の場合は、親機の取扱説明書をご確認ください。
増設（登録）されていない場合は、親機に増設（登録）してください。（19ページ）

- 開閉センサーが親機から離れすぎていませんか？
→開閉センサーで電波レベルの確認をしてください。（20ページ）
（電波レベル2以上でのご使用をお勧めします）
電波レベル1以下のときは、中継アンテナ（品番：KX-FKD3）をお勧めします。（10ページ）
電波レベルの確認をしても、電波レベルの確認音が鳴らないときは、電池を交換してください。（29ページ）
- 本体と磁石の取り付け位置がずれていませんか？
→磁石が本体の検知範囲内かどうか確認してください。（27ページ）

テレビドアホン、ファクス、電話機で本機をご利用の場合

- 親機の報知レベルの設定が「オフ」（または「OFF」）になっていませんか？
→親機の取扱説明書を見て、親機の報知レベルの設定を「高い」または「低い」に設定してください。

- 親機のディスプレイに、本機の電池交換のメッセージが表示されていませんか？
→ 電池を交換してください。（29ページ）

ホームネットワークシステムで本機をご利用の場合

- 警戒モードを解除していませんか？
→ 「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書（33ページ）をご確認ください。
- 「ホームネットワーク」アプリケーションで本機の電池交換のメッセージが表示されていませんか？
→ 電池を交換してください。（29ページ）

窓／ドアを閉めても開閉センサーの報知音が止まらない（約30秒鳴る）

テレビドアホン、ファクス、電話機で本機をご利用の場合

- 窓を閉めただけでは、報知音は止まりません。
→ 報知レベルが「高い」の場合の止めかたは、親機の取扱説明書をご確認ください。

ホームネットワークシステムで本機をご利用の場合

- 窓／ドアを閉めただけでは、報知音は止まりません。
→ 「ホームネットワーク」アプリケーションで[停止]をタップしてください。ホームユニットの【Wi-Fi設定】ボタンを押して、報知音を止めることもできます。詳しくは、「ホームネットワーク」アプリケーションの取扱説明書（33ページ）をご確認ください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

ご相談の
前に

- ① 35、36ページの「困ったとき」をご確認ください。
- ② 38ページのパナソニック 総合お客様サポートサイトの「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などもご活用ください。

使いかた・お手入れ・修理などは…

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

品 番

修理を依頼されるときは…

上記①でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製 品 名	開閉センサー
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし電池は、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

- 修理・返却後にお客様自身で接続機器、スマートフォン、タブレットへの登録が必要になる場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パソコン・スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。

パナソニック ファクス・電話機ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリー
ダイヤル



0120-878-983

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■ 上記番号がご利用
いただけない場合

06-6907-1187

■ FAX
フリーダイヤル

0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリー
ダイヤル



パナは イイヨ
0120-878-554

※携帯電話・PHSからでもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- ・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市中央区神道寺2丁目7-1
中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)255-5784	岐阜市西河渡3丁目73
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	東大阪市長田東1丁目3-12
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
中国地区	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
沖縄地区	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上荒田町27-4
	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html> 0515

- 本機は日本国内用に設計されています。
国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をしてください



<http://club.panasonic.jp/>

携帯



※このサービスは WEB 限定のサービスです。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2015

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ) 本書のご添付がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はおお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は、取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

- ※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

開閉センサー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	KX-HJS100, KX-HJS100W		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間 (但し電池は除く)		
※ お買い上げ日	年 月 日		
※ お客様	ご住所		
	お名前		
	電話 () -		
※ 販売店	住所・販売店名		
	電話 () -		

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号 TEL (092) 477-1800

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡してください。